

# 外部運用領域でのサステナブル投資の取組みについて

2025年12月

ニッセイアセットマネジメント株式会社

私たちニッセイアセットマネジメント(以下、「当社」という)は、外部運用会社・商品の選定、モニタリングにあたり、次の通り、外部運用会社によるサステナブル投資の取組み状況の確認を行っています。

- (1) 商品選定時 : 面談や現地での調査等を通じて採用運用会社・商品におけるサステナブル投資の取組みにつき確認。
- (2) 採用後のモニタリング : 定期的に受領するレポートや現地での視察等を通じて、選定時に確認した項目に変化がないか継続的に確認。

#### 【主な確認項目】

- ・ 会社としてのサステナブル投資取組み状況
- ・ サステナビリティを考慮した投資判断がなされているか
- ・ 議決権行使の取組み状況
- ・ とくにマネジャーが重大なサステナビリティ課題だと認識する項目について、投資先企業と積極的に「建設的な対話」(エンゲージメント)を実施しているか
- ・ サステナブル投資推進に係る業界での活動等

#### ＜既存運用会社のモニタリング実績(2024年度)＞

- ・ 伝統的資産(上場株、債券など)の運用会社 : 97 社
- ・ 非伝統的資産(プライベートエクイティなど)の運用会社 : 119 社

#### ＜サステナブル投資推進に係る業界での活動等＞

当社の外部運用会社は、サステナブル投資の推進や相互理解のために、様々な業界団体に積極的に参画しています。

#### (1) 国連責任投資原則(PRI)

責任投資の普及と高度化を目指す国際的な投資家の会員組織。2006年に設立。グ

ローバルで 5,000 を超えるアセットオーナー、運用機関、サービス提供機関等が署名。

(2) Net Zero Asset Managers Initiative (NZAM)

パリ協定において合意された「1.5°C」目標の達成に向けて、2050 年までに温室効果ガス排出量をネットゼロ(全体としてゼロ)にすることへの貢献を目的として活動するイニシアチブで、2020 年 12 月に発足しました。

(2) International Corporate Governance Network (ICGN)

1995 年に設立されたコーポレート・ガバナンスの強化等に対して様々な支援や助言を行う国際的な機関投資家団体。

その他、外部運用会社が参画する主な業界団体は以下のとおりです。

- ・ GDP
- ・ Climate Action 100+
- ・ 地域別気候変動投資家団体 (IIIGCC (欧州)、Ceres (米州)、AIGCC (アジア)、IGCC (豪州))
- ・ 国際財務報告基準 (IFRS) / サステナビリティ会計基準審議会 (SASB)
- ・ UK Sustainable Investment and Finance Association (UKSIF)
- ・ Asian Corporate Governance Association (ACGA)
- ・ 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) PRI Advance (人権に関する共同イニシアチブ)

## 【その他の取組み】

### <1. ESG ファンドに係る情報開示について>

外部運用の公募投信の ESG ファンドにつき、運用会社との連携の上で、お客様向け資料(目論見書、運用報告書、月報)での情報開示の拡充を進めています。

## <2. 温室効果ガス排出削減に向けた取組み>

温室効果ガス排出削減に向け、当社の取組み方針を外部運用会社と共有するとともに、外部運用各社の取組み状況を確認しています。

## <3. 運用委託先との契約書へのサステナブル投資要件の織込み>

「運用委託」の形態のファンドにおいては、外部運用会社との投資一任契約書にサステナブル投資要件を織り込むことにより、各社のサステナブル投資の取組みを促しています。